

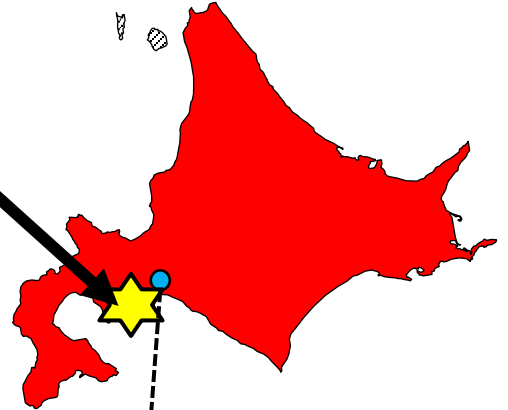
国内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました(今シーズン1例目)！

- ウイルスに感染した渡り鳥の国内飛来が確認されています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況（令和7年シーズン）

家きん飼養農場国内1例目

確認日: 10月22日
所在地: 北海道白老町
飼養状況: 約45.9万羽(採卵鶏)



〈参考: 家きん飼養農場における近年の発生状況〉

シーズン	発生件数	殺処分羽数	初発事例
R6	14道県51事例	932万羽	R6. 10. 17(北海道)
R5	10道県11事例	86万羽	R5. 11. 25(佐賀県)
R4	26道県84事例	1,771万羽	R4. 10. 28(岡山県)
R3	12道県25事例	189万羽	R3. 11. 10(秋田県)
R2	18道県52事例	987万羽	R2. 11. 5(香川県)

野鳥(北海道1事例目)
 苫小牧市
 オオタカ死亡個体1羽
 (10月15日回収)

【発生予防対策のポイント】

野鳥等の野生動物の
家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



小型の野生動物の侵入防止



野生動物対策

農場に入る車両の徹底した消毒



家きん舎内に入る
人・物の徹底した消毒



人・物・車両対策

- ・衛生管理区域内に入る車両の消毒！
- ・野生動物侵入防止対策の徹底！
- ・鶏舎出入口や周辺の消毒徹底！
- ・対策の点検・補修・改善！
- ・毎日の健康観察！
- ・早期発見、早期通報！